

2025年度院生企画研究会



中国農村部における生きた民間信仰の現在 —安徽省南部農村のフィールドワークから—

「急速な近代化と人口流出」—。中国農村を語ると、どうしてもこの「変動」の側面に光が当たりがち。しかし、村の日常に深く入り込んで観察すると、そこには近代化の波に飲み込まれずに残り続ける、驚くほど“もう一つの世界”がある。たとえば、西洋医療が普及した現在でも、原因のはっきりしない「元気のなさ」には、驚きで抜けた魂を呼び戻す民俗医療儀式（収驚）が行われている。さらに、道士が葬儀を導き、風水師が墓地を選ぶといった葬送のプロセスも、一般の人々の生活にしっかり根を下ろしている。いったい、これらの実践はどのように受け継がれ、そして現代の農村でどのように姿を変えているのか？

本研究では、安徽省南部の農村を舞台に、民俗医療と葬儀習俗のフィールドワークを通して、“生き続ける民間信仰”の現在を描き出したい。

（本研究は公益財団法人サントリー文化財団 2024年度、2025年度研究助成金による支援）

会場：ZOOM参加（後日に個別連絡）

日時：2025年12月18日（木）19：00—21：00

参加費：無料（要申込）

主催：日本発の中国地域社会学会

共催：関西学院大学社会学研究科

大学院生サポートプログラム（GSSP）事業

お問い合わせ：gyi30559@kwansei.ac.jp（代表：範麗娟）

事前申込：※ 右記QRコードより参加申請

（12月17日締め切り）

講師：張曼青

京都大学フィールド
科学教育研究センター

里山 山村の生業 フィールドワーク
生活環境主義 離土離郷 農民の主体
性 農村民間信仰の研究を行っている。

